

【表】知床半島先端部地区利用の心得の点検 作業方針・作業フロー

作業方針:

- ・作業に当たっては、
 1) 現状と対応方針の整理
 2) 対応方針を踏まえた現状課題への対応
 をもとに、必要に応じ、利用の心得の修正を検討。
 ・検討は、平成27年度、28年度の2ヶ年で行う。

作業フロー:

◇平成27年度:現状と対応方針の整理

年月	検討グレード		検討フロー	
	エコツアー検討会議	検討部会	(作業手順)	(作業項目及び検討方針)
H27. 9月	○ (1日)		1) 検討作業にかかる承認	○平成27年度第1回適正利用・エコツアーリズム検討会議 ⇒提案の提出、検討及び部会設置の承認
H27. 10月		○ (19日)	2) 検討作業体制構築	○平成27年度第1回利用の心得点検部会 ⇒スケジュール、作業方針の検討・共有
H28. 2月		○ (3日)	3) 対応方針の検討	○平成27年度第2回利用の心得点検部会 ⇒課題、対応方針の検討
H28. 3月	○ (2日)		4) エコツアー検討会議への作業経過及び次年度作業計画報告	○平成27年度第2回適正利用・エコツアーリズム検討会議 ⇒検討状況の報告

◇平成28年度:対応方針を踏まえた現状課題への対応

年月	検討グレード		検討フロー	
	エコツアー検討会議	検討部会	(作業手順)	(作業項目及び検討方針)
H28. 5or6月		○	5) 改訂案の検討	○平成28年度第1回利用の心得点検部会 ⇒対応方針の反映方法の検討
H28. 6or7月	○		6) エコツアー検討会議への報告等	○平成28年度第1回適正利用・エコツアーリズム検討会議 ⇒検討状況の報告
H29. 2月		○	7) 最終案の決定	○平成28年度第2回利用の心得点検部会 ⇒部会としての結論の合意
H29. 3月	○		8) 検討結果の承認	○平成28年度第2回適正利用・エコツアーリズム検討会議 ⇒点検結果報告、承認

※平成28年度の会議回数については、平成27年度第2回部会の進捗状況等を踏まえ、必要に応じ増やすことも検討する。

検討グレード(作業を進める主体・会議体等)

※「エコツアー検討会議」

- …適正利用・エコツアーリズム検討会議
 ○検討部会の上位組織。検討部会で検討した結果を承認できるか検討を行う。
 ○利用の心得を修正する場合は、修正版の策定主体。

※「検討部会」

- …先端部地区利用の心得の点検 検討部会
 ○エコツアー検討会議において設置を認められた会合。検討会議で検討にかけられる内容を、地域関係団体とともに検討する場。